

Ⅲ. 資料

1. その他と自由記述

問 1-8 で「1 備えている」と回答された方におたずねします。どのようなことを行っていますか

5. その他
屋内に入る事
放射能防災訓練に参加
食糧等
避難用具の備蓄
自給自足的な生活
原子力以外に自然災害にも備えている。
体内に入っても外部に出すことができるサプリを服用している

問 2-1 日常において、防災に関する情報をどのような方法で知ろうとしていますか。

10. その他
有線放送
防災無線
職場
施設職員から聞く
市の放送
県の防災メール
TWITTER

問 2-2 万一原子力災害が起こったとしたら、原子力災害に関する情報をどのように知ろうと思いますか。

11. その他
本能
本
防災無線
息子からの情報
専門家のWEB
職場
PTA での交流会（福島県、千葉県のプロテクトの方）
共産党
インターネット
情報の早い順

問 3-2 その他に日頃知りたいと思う内容があれば教えてください。

安定ヨウ素剤の数は足りているのか、又県内すべての病院に常備しているのか。 被ばくした場合の対応と治療法。
長浜市は日長浜市地域だけの事を考え、合併した地域の事をなおざりにするのではないのか。どう考えているか知りたい。
市の情報誌で毎月測定場所の値を掲載してほしい
拡散予測
行政がどのような対策を準備しているか
放射線から身を守る方法を誰もがわかる具体的な記載がほしい
災害時の風向きや水に関する事
企業（関西電力）の対応
災害が起こったときの保障をしてもらえるのか？
小さな子供に及ぼす害などの情報
広報など毎月繰り返し書いてほしい。仕事で自われる身のためわかりやすく。常に毎月 1 回の広報は読んでいるため書いてあると、ありがたいです。
正確な情報（専門家の判断による）をタイムリーに
避難場所や経路、食糧はいくらだけ持てば良いのか
甲状腺ガンが高島市内で他の地域よりかかる人が多いと聞きますがどうなのでしょう？
現地のマイクロシーベルト
月一回程度の放射線量の測定値の報告
災害時の保障対応、長期的な健康への対応（診療費の無償化）
なぜ、原発が止められないのか！ どう考えても負の遺産だと思います。
家畜やペットへの影響
北西からの風の状態を常時知らせておく方法はないのか
原発の運転状況を詳細に
災害の情報が正しく発信されているかどうか
勉強会みたいな感じのことはしてほしい。
原子力の使い道（節電することで原子力を使う台数を減らしたいので）
原子力災害が起きない為に、今どんな対策がなされているか詳しく知りたい。
原子力災害が発生した場合の避難経路、方法
国、県、市への情報共有は出来ているのか
同心円ではなく、風向き等を考慮した汚染範囲の予測
原発ゼロへの前向きな検討

災害が起こらないための取組
福島では住民に避難指示がでましたが、一定の放射線量がある方が健康によいというデータもあります。危険なレベルに達して、はじめて避難が必要となるので、あまり危険レベルを下げて過剰反応しない方がよい。
避難方法
原子力発電を止める方法の方法論がどれだけあるのか
近隣情報
雨の中に含まれる放射線量
原子力施設に対する国外からの破壊活動に対する防衛について
地下水を使用している家もたくさんある。(地下は大丈夫か?)
市内の防災マップがあればありがたい。
どれくらいの放射能が消失する期間が消失しやすい環境
脱原発の具体策、再生可能エネルギーの普及推進
福島原発事故と同じレベルが福井原発で起こった場合、湖北地方にはどの程度の放射能が影響するのは非知りたい。
立地県以外の原子力についての発言権はどれくらいあるのか
行政の指示がどこまで信用できるかわからない。
避難命令が出て自宅にとどまるつもりです。どうなりますか?
発電所はあらゆるリスクを想定して対応策を立てているのか
定期的に放射能等の想定値を知りたい
自分で出来る放射能からの回避方法
原子力発電の汚染水、稼働状況
原子力発電所の稼働状況
防災に関する備品(マスク、防護服、ヨウ素剤)は大量に備蓄しているか。
真実(国やTVは現実起こったことの1割も伝えていない)、被災者の方から聞きました。
正確な事実を知りたい
もし被ばくした時どのような手順で処置したらいいか
国・県・市に隠さない本当の情報を知りたい
子供たちも学校での避難訓練をしてほしい
敦賀市の原発は大丈夫なのか?
ヨード剤が有効と聞いていますが、すぐ間に合いますか?
日常生活において放射能がどこにあるか
風向きと放射能汚染予測との整合性(以前に出ている風向きでは実際と差がありシュミレーション結果が信頼できない)

どうすれば原発を廃止できるか
各家庭での正しい対応について
理論的な思考を尊重したいから。何でも早ければいいというものではない。
近隣の道路や草原に放射線があるか調べたい。
避難に船を利用することを聞いたが船の大きさを知りたい
原発からの日常の放射性物質の放出量
食材について知りたい。
安全な避難場所
放射線の及ぶ範囲
会社に行ってもよいのか
本当の数値を知りたい
避難区域の範囲
琵琶湖への影響
日本でとれる野菜などが安全か
本当の情報
防災無線などで前日の放射線量を発表してほしい。
高島市内の日頃の放射線量が知りたい

問3-3 その他に原子力災害時に知りたいと思う内容があれば教えてください。

緊急性や事故の状況等、タイムラグなく伝わっているのか心配。
古い木造家屋の場合、自宅待機で安全なのか…
周辺に住む人々の安否の確認情報や確認方法
平均的な大きさの家の除染の効果と費用について
たくさん情報がありすぎると混乱するので、優先順位でまず何をするのか知りたい
防災無線など自治会等で避難訓練を実施してほしい。高島市では訓練している。
出来るだけ早く真実を知りたい
これから先に行動すべき計画案(週単位、月単位での計画)
正確な放射線量
避難が必要な場合、具体的な手立て
市、県、国の対応状況
避難方法
どういう行動をしたら良いのか知りたい。
災害収束の目安

放射線と放射性物質の相違、放射線の透過性（中性子線なら鉄製でも透過できる。）
災害の規模・程度を正確に知りたい。
琵琶湖の一部が汚染された場合、滋賀県全域のみならず他県も影響すると思うが、どう対策を取るのか。また、屋内退避の場合水はどうしたらよいのか？
県、市の事故の時の早い速報を市民に流す。
汚染の除去対応の工程表、計画
真実の情報
まずすることは何か！ 食糧確保か、避難か、家族確認か、となり近所確認か
安全な場所、安全な建物、避難場所
事故の状況について真実が伝えられているか
救援物資をどこで受け取れるか、避難場所いつまで避難するかの期限の目安
電気（テレビ、インターネット）で情報が失れない場合はどうすれば良いのか
この災害がいつまで続くのか？ 避難しても元の家に帰ることが出来るのか？ 単に避難行動だけでは困る。そのためどんな対策がなされるのか。
避難所、トイレの場所、今後の予測、飲料水・食物の確保
家族、知人、友人の状況を知る方法
避難場所の備蓄状況
避難場所、交通情報、生活手段、身近な指示者など
隠したりせず、全て公表
隣接する県の原子力発電所で災害が起こった時には正確な情報を知らせてほしい
自家栽培している作物を食しても良いのか？
政府の隠ぺいされる情報と情報規制されたマスコミの情報
災害時の輸送システムの詳細
原因、理由の説明 行政、専門家の説明
事故に関する正確な情報と見解
日常使用している水道水の影響
本音で立っている市、県の防災計画の内容（本当に放射線を浴びずに行ける計画か？）
自己責任の範囲
避難指示が出た際、直ぐに持ち出す物の詳細
災害対策本部の判断が適切に行われているかどうか
人体の影響や生活の影響
集会所やスーパーなどに放射線通知を表示してほしい。
避難区域がどこまで安全性があるのか

子供がいるので屋内避難になってしまった際の食糧不足が心配です。ある程度備蓄は心がけていますが、避難期間が長い場合はそうすればいいのか心配です。
市民・県民が避難できる自治体と相互に協定を結んでおいてください。
もし、放射能を体に浴びた場合、測定する施設（病院）を知りたい。
避難の際の支援状況（医療ケア、宿舎、生活支援）と利用指針、今後の生活展望と支援状況
平和な市民生活を根こそぎにする恐ろしい設備が、何故現存するのか
現場関係者の意見
避難する場所がわかっていたら混乱せずスムーズに行動が出来る。
災害時には正しい情報をすべて隠さず伝えてほしい。
電力会社の方の正直な受け答え、真摯な態度をお願いしたい。
医療体制、生活支援支給品（測定器・ヨウ素剤）の通知、生活の注意
隣接している他県（近くてははダメ）の避難場所
配給について
放射線の量とその後の人体の影響
全て知りたいが本当のことを伝えてくれますか？
井戸水を使用しているので地中での放射能の影響
生活保障全て、どこか責任でどの程度の補償されるか
安全な場所への移動方法
仕事が休みになるかどうか
放射線の種類・ヨウ素 131 の情報等
原子力稼働には反対です。
早く事実をそのまま知りたい
避難時のペットへの対応
服装やマスクの厚みや手洗いなど
交通情報
事実をありのまま全て知りたい
子供を守る方法。子供の被ばく量測定の予定
放射能拡散状況。風向きでどう変わるか
ペットと一緒に避難できる方法。ペットにおける放射能の影響。
バントするなど専門的な用語を使わず、大気開放すると記述すると事の重大さが分かりやすい。他の記述も専門用語を多用せず、市民が理解する説明を望む。
高島河口はどうなっているのか
放射能の測定値については大丈夫かそうでないかの基準を知りたい

問3-4 「正確性を重視する」、「どちらともいえない」、「迅速性を重視する」を選んだ理由

「正確性を重視する」を選んだ理由（主な意見）
1. 迅速な情報イコール誤報と捉えているから
・誤った情報よりも正確な情報を受け取りたい
・迅速でも間違っていたら意味がないから
・間違いのない情報がほしいので
2. 情報とは正確なもの捉えているから
・正確な情報が第一です
・速くより正確が第一
・原発事故の情報は正確でなければならない
3. 曖昧な情報のためパニックを引き起こす恐れがあるから
・不十分な段階での発言は混乱を招く恐れがあるから。
・迅速性を重視すると混乱が先にたつ
・パニックになり二次災害を起こす可能性があるから
4. 少し遅くても正確な情報が欲しいから
・少し遅くても正確な情報があると次の行動を決められる
・多少時間がかかっても正確な情報だと落ち着いて行動・判断できるから
5. 周り（子供、高齢者等）が居るから、慎重に動きたいから
・情報の発信がすこし遅れる事もありますが、正確で無ければ年配者は動きが取れないから。
・子供がいるのでやっぱり正確に何事も取りたいと思う。
6. 過去の事例（福島原発事故）では、曖昧な情報が多かったから
・福島の時のような真実性のない情報なら意味がないから。
・福島の原発の際、正確性が欠けていて福島～関東地方の人々が混乱したから
7. 行政だから正確な情報が欲しいから（迅速な情報はマスコミで良い）
・迅速性についてはマスコミが報道するので行政からは正確な情報が知りたい
・マスコミ等にあおられ、誤った情報が流れやすく、正確な情報が欲しい。
・行政の役割は正確性だと思うから。
8. その他
・行政が信用できない。
・電力会社の隠れたい心配であるため
「どちらともいえない」を選んだ理由（主な意見）
1. 両方大事なので行政はその意味を考えて発言してほしいから
・情報を発信する方に一番良い方法を考えてもらいたい

・どちらも大事！ 両立できるよう努力すべき
2. 両方大事なのでどちらも選べないから
・どちらも重要であり順位をつけられない。
・正確かつ迅速でなければならぬから。どちらを優先するかとの問題ではない。
3. 時期や状況に迅速性が正確性の順位が変わるから
・初期段階では少し不正確でも迅速に避難すべきで、それからは正確な情報で行動すべき
・発生状況により優先度合いが異なってくるように思えるから
4. その他
・原子力災害は人が計算する規模が大き過ぎて、正確とか迅速とかの領域を超えてしまっている。
・原子力災害では正確性と迅速性は両立しないと思うから。
・福島の事故を見る限り、国の都合という方向で情報が発信されそうだから
「迅速性を重視する」を選んだ理由（主な意見）
1. 正確でも手遅れになったら困るから（後悔したくない）
・正確に、正確に情報が入ってこない内に避難が遅れたりして後悔したくないから
・仮に間違いだったとしても被害あったからでは正確性も役に立たない。
・例え後でそれが誤報としても何事もなければ幸いです。迅速に伝えることが何より大事。
2. 情報とはタイムリーなものだから
・過ぎたる情報は情報とは言えない。安全係数を設定し、適切なる時間の余裕を加味して避難指示等を行ってほしい。
・情報は早いうちに発信してほしいから。
・情報はタイムリーでないと意味がない
3. 後で訂正できるから
・情報が正確か否かは全てが終わってから判断できることだと思うから。多少修正があっても早い方がベター。
・まずは情報を与えられなければ行動が判断できない。誤報であったとしても、その時点での正確（と思われる）情報であれば、出し惜みせず知らせてほしい。
・危険な場合は迅速な情報、正確さは逃げて後でも得られるから
4. とにかく早く知りたいから（そして、早く行動したい）
・情報（生データ）でもいいので迅速に発信されると自分で判断できるから
・緊急時は混乱すると思うので、多くの情報の中から自分で判断しやすいから
・不安から早く情報を知りたいと思う
5. 過去の事例（福島原発事故）では、情報が遅かったから
・福島原発の事故を知って、住民をもっと早く避難させてあげたらよかったと思う。住民の十年後、二十年後のことが心配

<ul style="list-style-type: none"> ・福島の大災害のように時間がかかってから避難したのでは、後の身体の状態が心配である。
6. 原発災害は他の災害と異なるから（目に見えない）
<ul style="list-style-type: none"> ・原子力災害は迅速な対応が一番重要です。放射能は目に見えないため情報だけがたよりです。後の対応は自分で考え行動します。
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉が冷却不能になってから危機的状況（メルトダウン等）になるまでの時間が短いから
<ul style="list-style-type: none"> ・原子力災害においては、他の災害とは異なり目に見えない放射能に対する避難が被害を拡大させない唯一の方法と思うから
7. 行政は慎重すぎ、対応が遅いから
<ul style="list-style-type: none"> ・政府と行政が情報を得るのが遅いから
<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関が発信する災害時の情報は、正確性を期するあまり迅速性を欠いている。ある程度の正確性はもちろん必要だが迅速性が優先されて然るべき
<ul style="list-style-type: none"> ・行政は発信するのが遅いから、その上正確性にも欠ける。それなら迅速性を優先する。
8. 前置きを入れて迅速に情報発信すれば良いと思ったから
<ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず予測されていることを含めて早い対応がほしい。「まだ確認中ですが...〇〇した方が良いと思われる。」等の伝え方
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急に避難すべき事柄があれば手遅れになりたくない。たとえ誤りでも手遅れより良い。その場合は必ず前置き（確認できていない状況など）がほしい。
9. その他
<ul style="list-style-type: none"> ・近くに原子炉があるため
<ul style="list-style-type: none"> ・誤った情報を伝えること自体が間違っているので迅速性を重視します
<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な情報が大事。行政が指示をしないと動けない人が多いと思うので。

問 5-1 で「1 ある」と回答された方におたすねします。それはどのような場ですか。

7. その他
前職で教育を受けていた。
老人会
PTA 活動
防災訓練
学校（大学）
役場で聞いた
市の会議
講演会
現地で原子力防災研修に参加

原発勤務者の親族
原発の見学の際
飲食店等
ネット

問 5-4 問 5-2 で「どちらともいえない」「少し必要がある」「必要がある」とお答えした方におたすねします。

問 5-2 に示したような場があった場合、あなたはどのようなことを話し合ったり、行ったりしたいですか。

8. その他
原発の是非
原発の廃炉について
原発ゼロに向けての話し合い。現在の福島の避難者の気持ちを報道するべき。
老人・乳幼児・障害者に対する避難について
赤ちゃんのミルク、お湯等の用意、おむつ
避難時の最低限の持ち物
身の在り方
県、市からの支援体制
災害が起きた初期対応
事故の規模や飛散の程度予測
放射線量の危険レベル
災害時の対処法、行政も事業者も情報を隠さず公開してほしい
行政や事業者側から発信すべき
他県からの避難者は滋賀県内のどの場所で受け入れるのか、又どれくらいの人数になるのか
避難場所の確定、必ず全員が知っていることが大事。
原子力事業者の原子力への姿勢、精神
発電所内に災害の状況を確認できる人を常駐させてもらう。
国民すべてに太陽光を配ってみたら…
事業者の社会的責任の教育
原子力業者に対してお金を使いすぎることを
代替エネルギーに関すること。
原子力の廃棄物は完全に処理できるのか。琵琶湖が汚染されたら大変なことになる。
除去作業について
今後、子供たちにどのように「原子力」や「放射線」について伝えていくべきか
最悪な状況ではどうなるのか

福島の場合と比較して知りたい
原子力災害の基礎的なことを学習する機会
自然状況によって災害が変わるので参考例を出してほしい
地域での取り組みの仕方
どうでもいい
福島の場合と比較して知りたい
情報公開のやり方
リアルタイムで放射線の測定値を行い、Web に公開

問6-1 ①原子力防災計画（3～6 ページ）の分かりにくい理由

5. その他
子供でもわかりやすいように作るべき
硬い感じ、読もうと思わない。漫画的なら子供でも分かる。
3 ページ目の文字とイラストのバランスが悪い
色の配置が気になります。特に6 ページの道などは色弱の方には同じ色に見えます。
デザインバランス
字が大きすぎて読みにくい。メリハリをつけてほしい。
レイアウトが悪い
文字にひらがなを
写真やイラストがわからない
事故が起こってからの経過時間の目安が、それぞれの避難計画に記載されていない。
SV の単位の使い方が間違っている。SV/時、SV/年にすべき
数値の単位の割合がわからない。
研究センター予測図をそのまま載せられてもわからない。
学術用語的な説明である、簡明な説明を
PAZ、UPZ、PPA は？
希ガスヨウ素がどんなものかわからない
専門用語が多い
P3 の琵琶湖が分かりにくい
P4 がよくわからない
まとまりがなく、見ていて分かりづらい。
地図に町名がある方が良いと思う。
季節や風向きによって放射線の拡散する地域と量

避難体系のイメージ図が小さく全体に分かりにくい
ポストの位置を具体的にお願いします。
表示、表現、構成が良くない。(気を引かない)
例えるのまいいか、それでも分かり難い
訂正地図の範囲がわかりにくい
責任の所在の追求等、災害後の事がわからない。
要点を絞って書いてほしい。
具体的な地域や時間が書かれていない。
地域に密着した情報がほしい
事故に直面しない段階では読む気がしないから
現時点で必須情報ではないので頭に入らない。
リアリティを感じない

問6-1 ②災害時の対応（7～11 ページ）の分かりにくい理由

5. その他
デザインバランス
一枚の大きな用紙にしたなら、貼っておける。
表示、表現、イラストが分かりにくい。
風向きを考慮した予測
屋内退避や避難の際の注意事項が少ない。
こんな簡単な説明で良いのか
説明が理屈抜き、説得力不足
想像力がついていけない
幼児への対応が不明
専門用語が多いから
「原子核が崩壊する」という意味が分からない。(図やイラストで説明してほしい)
100mSv 以上の予想が出ているのに普通のマスクで防げるのか？
冊子の「屋内退避」と「避難」の場合、区別をもっとハッキリとした方が良い。
放射線から身を守る1 番有効な方法がまいちわからない。

問6-1 ③知っておこう、放射線のこと（12～15 ページ）の分かりにくい理由

5. その他
デザインバランス

例が理解しづらい
ボクサーの説明が分からない
P14 が分かりにくい
13 ページは内外被ばくを説明するより、被ばくを避けるために迅速かつ正確な広報が必要ではないか
木造の家が多いのに放射線の透過に木材が抜けている
ベクレルの事など納得できない箇所あり
長期避難に備えた対応が書かれていない。
人体への影響に具体性が足りてないように思う
外部・内部被ばくがどのような事か起きるのか記載がない（一番大事）
わかりやすい呼び名と単位で体に受ける被害度を知ることが出来ると思う。
知らない用語が多い
放射線と放射能の単位が難しい
単位がいろいろありすぎてややこしい
ベクレル、マイクロシーベルトなどの単位になじみがないから理解できない。
a、P、Rの違いについて書いていない
α線β線γ線中性子線がどんなものかわからない
原子炉そのものについての説明もほしい。
原子力発電の必要性が全然説明がない。
情報が偏っている
事故が起きてからの経過時間の目安がそれぞれの避難計画に記載されていない。
SVの単位の使い方が間違っている。SV/時、SV/年にすべき

問6-2 今後も、冊子の改善を図っていきたいと考えております。改善した方がよいと思われる点や、他に掲載されているとよいと感じた内容がありましたらお書きください。（自由記述）

（感想）
本当に冊子通りの対応で十分なのか少し気になりました。
P15の図は放射能を容認するよう感じます。
大変結構な内容の冊子で良く理解できるような感じがしました。
冊子などは色々読んでおきたい。
冊子もページ数が多いと読みたくないなので丁度良かったです。
非常にお粗末な冊子ではありませんか！！
私は後期高齢です。イラストがよりよくわかります。

冊子に基づいてやはり言葉の伝達が大事だと思う。
目次もわかりやすい
イラストも多いしカラーなのでとてもわかりやすい
このような冊子があることを初めて知りました
この程度でよい
実際にどうしたらよいか書いてあり、判りやすかった。
冊子は参考になった。家族で読んで色々なことを確認していきたい。
今後の冊子に期待します。よろしく
（内容をやさしく記述してほしい）
ある程度良くできている冊子だと思う。自分自身もこの冊子をよく読み勉強したいと思います。専門用語は少し理解しにくいと思うが、
内容を理解しやすく改善をして月一回発行することをお願いします。
もう少し言葉を簡単にしたら分かりやすくなると思います。漢字に読み仮名をふったら子供でも読み、理解できると思います。
もっと身近なことで説明をした方がよい
書いてある内容が多く、1ページに詰めすぎな気がする。ページを増やして中味を分けて記載したら…
P5県のモニタリングポストの測定値HPの写真を入れて「このように情報を提供しています。」と入れてもいいのでは… P10避難のページで近所の人にも声をかけて避難となっているが、集まって避難と書いた方がよいのでは…
誰もがパット分かるようにしてください。
冊子の内容がわからない。
原子力防災については専門用語が多く、理解しづらいところがあるのでよりわかりやすく注釈等を加えることやイラストでの説明を増やすなどをお願いします。
別紙（滋賀県原子力防災）の中の絵・アニメなどで交えて出題してもらえると分かりやすいと思います。
放射線、放射能の単位は難しい。理解しやすいようにイラスト等で説明を…
難しい問題なので、なるべくわかりやすく作成してほしい。地元の放射線量を計測したものを広報等で知らせてほしい。
専門用語を分かりやすく、一般市民のレベルに立って考えてほしい。
漢字に振り仮名をお願いします。
若い者がもっと興味をもつような内容を
誰が見てもわかりやすいものを作成してあるとよい
図、イラストが良くない。P4はわかりにくい。（UPZ、PPAて何？）
どのように安全を守れるのかをもっと分かりやすく解説してほしい。

文は短く絵や漫画的な表現がわかりやすい
イラストを若者向けにしてほしい。
マスコミが使う用語と大して変わらず、基本知識のところが抜けています。どこまでが心配でどこから安心できるかもっと分かりやすく説明してほしい。
(レベル別にパンフレットを作成してほしい)
地域別>
災害の想定では円で示されていますが、具体的に〇〇町、〇〇市あたりまで文字で示された方が実感しやすいと思う。専門的な用語が多いので理解しにくいと思う。
P3の地図に町名があるとより分かりやすい。
地域(旧町別)年齢層別に具体例を示す。
予測される地区は、町名、自治区まで表記してほしい。
冊子の内容は一般的な防災計画で、県、市独自の防災についても具体的に記載してほしい。
地域個別の避難経路等のマップ
防災計画(町名、区名の詳細表示)、高島市では無い。防護服、マスク等の用品の品質
実際に原子力災害が発生した時に避難する地域の名前をもっと詳しく書いておいてほしい。
内容は分かりやすいが、実際もっと色々なパターンがあると思うので、地域と連動した内容だと身近に感じられる。
草の根広域的な各地域密着型があってもいいのでは…
町、村レベルで冊子の作成を希望する。(もっと身近に感じるから…)
住んでいる地域での避難時の方法など身近なことをもっと知りたい。自分たちで出来ることは自分たち(自治会・近所)でしないといけないので
一般的な話より、市ごとの具体的な対応がわかるものがほしい。モニタリングポストの位置等について基本的な部分で間違えなど冊子作成にあたりもっと注意を払うべき、税金の無駄使い。
P6の高島市の地図を地域(高島、安曇川、新旭、マキノ、今津、朽木)がわかるようにしてほしい。
市や町単位で具体的な冊子があった方がよい
地名をもっと細かく表示してほしい
防災計画の図に町名などもなく、具体性がない。
県全域の地図と合わせて市町村別の範囲の地図もあると良いと思います。避難場所の詳細(収容人数、備蓄)も教えて下さい。
P6の黄色い地域にあたる高島市、長浜市の何町の字名まで教えてほしい。
地域によって対応が違ってきるのでエリア別にわかりやすく解説してほしい
具体的な地名を記載してほしい。
その地域に住む住民の気持ちになって編集してほしい

読者別>
子供向け冊子も必要と思う
高齢者に分かりやすいようにイラストで説明されていると大変分かりやすい。また、文字の大きさ(今回の大きさで良い)に注意して細かな文字は使用しないほしい。
子供でもわかるような簡単なもの
子供にも分かるような工夫があると良い(例:ふりがな)
子供向けの冊子があっても良いのでは?FM 滋賀作成の「やさしい防災ハンドブック」の原子力防災についての記述を参考にされてはいかがでしょうか…
お年寄りや子供とかにも見てわかりやすいように、写真、イラストにも少し考慮してほしい。
専門用語に先入観があり、どうしても分かりにくく思います。大人向けの冊子であっても、子供向けレベルに作成していただくと、わかると思います。
子供たちがわかる本(パンフレット)が必要だと思います。
子供用の冊子を検討すれば…
もっと詳しく(イラスト付きで…)、高齢者もわかりやすい、受け入れやすく
小学校低学年などは習っていない漢字もあるので、ふりがなを打ってほしいです。
冊子を読ませていただきましたが、これは子供から大人までを対象にされているのでしょうか?もしそうなら全く理解できません。大人を対象に作られたとしても14ページの放射線が身体に与えるレベルをボクサーに例えている所は、何かいいたいのかわかりません。有事の時のために活用する冊子にしては全体的なインパクトが無いように思いました
老人から子供までわかるような冊子を作ってほしい。
子供でも伝えやすいパンフをお願いします。
冊子は、「詳しいのも」・「簡単なもの」の2種類にしたほうが良いのでは、見るものレベルに合わせないと実際価値が出ないと思う。
子供でも分かるような冊子を制作してほしい。
被ばくした場合に人体におこる影響など、子供も理解できるよう内容を優しく
子供から大人までわかりやすい説明があったらいいと思う
低学年向けの絵本のような冊子も作ってほしい。用語が難しいので小さいころから聞きなれた方がいい
基本的に文字が多すぎる。詳しく知りたい方には良いがあまり知識のない方には分かりづらい。(小学生でもわかるレベルに)
子供~高齢者まで分かりやすくその地域の対応方法が判れば良いと思う。
子供が見ても分かるような内容も入れてほしい。
恐らく、防災に関心の無い人は冊子をほとんど見ないと思うので、原子力防災に関心のある人に有益な情報(市の防災の方針や災害時の対応など)を具体的に提示しておくとの良いのでは…

(内容を充実してほしい)
一覧表>
避難所などの一覧表があるとよい
最後のページに原子力防災における非常時の持ち出し品リストを掲載してほしい。
用語の説明が欲しい(特にP3~P6)
様々な一覧表が掲載されていると便利だと思います。
エネルギー>
現在稼働している原子力発電所についてもっと情報や対策をしている事を知りたい。
再生エネルギーの情報も記載すれば・・・
原子炉の仕組み、近くにある場所の地図
原子力の防災について知る必要があると思う
もんじゅの記載がないのはおかしい
原子炉の立地数、建立、稼働年数
原子力発電等のメカニズムや危険性についてもっと知りたい。
チェルノブイリと比較した掲載がほしい。
風の景観>
事故の場合「何Km以内」とか円径で表示されるが、風の流は時季や気圧で変化する他、山や谷により円ではないはず。 「目安」として分かりやすくしているのだろうか、空気の流れを予測し地形図で知らせるべきだろう。放射線物質の漏れも同様。
風向きや風速により変わるのに、一概に30キロ圏内が危険とは言えない。その辺の説明がないのは不思議。
放射性ヨウ素の拡散予測のギリギリの住民は判断にまよう。 放射性プルームとは何か?
風向のデータは示されていないが、1年間でいつどの方向の風が強いのか、北西の風は季節では冬が多いとか等がわかると良い。
最悪の時を設定し、その時取るべき行動や情報原を地域別に細かく設定してほしい。風向きにも変わるのでパターンもいくつか設定してシュミレーションしてほしい。
季節や条件で変わるのではないかな
風向きによる影響が不明。原発からの距離より、風向き(ノ方向)の風下の放射線の流れを図で知りたい。
風向きなどを考慮した季節による放射線の影響が必要だと思う。
質問>
P9 真夏に「屋内退避」になった場合、窓を閉めエアコンを控えたらどうなりますか? P10「避難」する湖西線は高島地域に来ないと思うのですが、どこに避難したら、またどのように避難したいのですか? どのページも「とりあえず」の内容しかなく具体的でない。

詳細地図>
周辺の地図はもう少し詳しく大きめに書くといい
地図が大ざっぱな感じに思えた。もう少し細かく書いていただきたい。
放射性ヨウ素の拡大予測図のマス目は、だいたいの地図になっていますが、もっと詳細にしてください。また、イラストや文字を大きくして見やすくしてください。もっと多くの情報が知りたいのでページ数を増やしてほしい。
高島市・長浜市の地図について市役所支所等の位置を明示し、目印として確認できるようにしてほしい
地図はもっとこまかく地名をいれてほしい
福島事故では何キロメートル圏内でのどのような状況であったかなどの掲載があると現実味があると思う
全体的に文字が多く、読みづらい。原発と滋賀県の位置関係の地図も見づらいです。放射線の例えは解りやすいと感じました。
滋賀県防災ポータルURL、ツイッター等SNSのアカウント名、福井県以外の近隣の原発地図(自主避難時の経路決定の参考とするため)
専門>
P15 ブラジル・ガラバリの放射線がなぜ高いかわからない。
放射性物質の種類と特徴についてもふられてはどうか
福島での事故による30km~50km圏内の被ばく量をのせてほしい。
原子力事故の際、どんな問題が起こるのかの詳細を知らせてほしい。
内部被ばく、外部被ばくが発生した場合に起こり得る体の症状。
放射線に対する対応手段、素人が行動する場合の質疑応答をイラスト付きで
アルファ線、ベータ線、ガンマ線の各性質をもっと分かりやすく説明してほしい。
マイクロシーベルトという単位がよくわからない。
自然界の放射線と原発から発する放射線とは危険度が全く異なります。放射線の種別をハッキリ明記し(セシウム、ストロンチウム、プルトニウム等)どれがどのように危険なのか明記してほしい。最後に放射線の影響を過小評価するような内容は掲載しないでほしい。
P12「ガンマ線は透過力が強く」の文章、P15 図表・目盛に意味が無い、度合いを実感するためにも改善願いたい。
P4のイメージ図とP14のボックスが分かりづらい。P11の専門的な医療が滋賀県あるのか? P12の中性子線の説明がない。ガンマ線とエックス線はどう違うのか。
希ガスの説明があれば良いと思った。
内容吟味>
あれもこれもいらない。一つだけ完全なものを手元に置くようにしたい。そんな冊子があればよい。
もっと伝えたいことをしぼることが必要だと思います。

人間の手でコントロールできない物を持つべきでない「防災」は今の福島をみると不可能だと思う。滋賀県は脱原発ということは考えないのですか。何もしないより良いかもしれないが、実際に起きていることのひどさに比べると、この冊子は”安全”を前提に書かれているように具体的にどうするべきかが見えてこない。
避難>
万一の際に最大限の適切な行動と対応が取れるような、日常の学習と訓練のための冊子を希望
災害発生時の対応の中身を充実させてほしい。
有事の際、すぐ行動できるか自信がない。本当に事故が起きた場合、先ずどうすべきかを分かりやすく図解で示して欲しい。
避難指示が出て避難した場合、避難所での日数が最低でもどれくらいいなければならぬか目安としてわかればいいなあと思います。心の準備もあるので
避難する場合、どこへ、どのように避難したらよいかわからない。
放射線は目に見えないので、屋内退避の場合、指示が守りにくい。どの程度被ばくと健康にどのような影響するのか分かりやすくイラストで提示してほしい。自治体からの避難指示は具体的にどのようなものか、車で移動してもよいかバスが出ているのか、徒歩なのか、避難した後の受け付けや管理など一連の流れを知りたい。
避難時や避難生活で最小限いる道具の一覧表、マスクの種類や数、避難用グッズ、非常食の量など
避難方法（特に勤務中など在宅で無い場合）の対応、距離別の対応
避難指示が出た時の準備物を掲載していただけると良いと思う。
避難の市町村別の具体的な詳細な方法
避難時の場所を掲載してほしい。
避難場所の明示
<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画 計画ではなく具体的な避難場所であったり、方角を知りたい。 ・対応 もっと細かく知りたい。 ・放射線 単位の部分が理解できない。
放射能については目に見えないため、情報だけが頼りになると思うので、情報に基づく行動を具体的に示すと良い。
避難経路などの図を多く記載していただきたい。
まず、避難基準を知りたい。その上でどこに避難するかを具体的に記載してほしい。
長浜市、高島市などは避難経路に大変心配します、具体案を提示していただきたい。
各地域の避難場所の地図がほしい。
いきなり放送されて、信じる人が何人いるか疑問。避難はどこにすればいいのかわからないのか？具体的なことは全く分からない。これで有事に行動できるのか
避難場所の地図（地元の人でないとうわらない）
避難場所、避難経路の掲載を…

「避難」の時はどこへ逃げれば良いのですか？
避難については各市町村で何を使って、どのようにするのかを多少違いはあるが、ある程度は書いてもいいのではないわ。市バス、公用車、自衛隊車両（交通停滞が起きて、避難を困難にさせる）
具体的な避難場所が書かれていない 万一の場合の地区別の場所を知らせてほしい
被ばく病状の具体例、避難先での準備、対応などもほしい
前もって避難経路と避難時の注意などを
避難方法や避難予定地やを大まかにいっていいから教えてほしい
避難時に持って行くものや備えるべき物品などが書いてあるといい。学校でも子供たちに指導して欲しい
細かく避難所などを定めておくことが大事。
避難体系のイメージにもう工夫ほしい
避難経路（広域避難する場合の主要な道路、交通機関など）を何パターンか掲載してほしい。
目に見えないものだからこそ慎重な対応と身近にいる者のことも考えてほしい。高齢者・障害者のケアや避難所での対応を知りたいと思う。
細かく避難所などを定めておくことが大事。
道路の混雑予測もあったほうが良いのではないわ
避難場所の具体的な場所
皆が知っているだろうと思うが、この冊子だけで十分理解できるようにした方が良いと思われる。避難時に必要な物も掲載すると良いと思う。
被ばく>
内部被ばくと外部被ばくの違いが少し分かりづらかった。（どこからどこまでが外部になるのかわからない）
ヨウ素剤の使い方についてもう少し詳しく知りたい。避難体系のイメージ図ももっと分かりやすく掲載してほしい。
内容が易しすぎます。行政の冊子パンフはいつも安全と記載しますが、どの程度の放射線を浴びればどうなるのか、はっきりと書いた方がどこまでかゆるせるとか伝わるのでは？
実際に被ばくした人の現実と状況を、そのデータ（人数、程度、日常生活での影響等）の情報が欲しい。
身体への具体的な影響について知りたい。
室内及び車の運転中の被ばくに対する対策
放射線が人体にどう影響するものか？を書いた方が子供のいる家庭にはいいと思います。
放射線による人体への影響例が少なく、具体的に何が悪いのかイメージしにくい。
子供への影響等を詳しく掲載してほしい。
放射線量などもっと詳しく知りたい。
放射線の性質など、各自が身を守る上で使える情報について、もっと掲載してほしいわ。

福島第一原子力発電所事故>
福島の写真も載せてほしい
まず、福島の皆さんの苦労されたことを知りたい。防災という目で見れば私達がとるべき行動というもののもう少し詳しくても良いのではないかと、地域に合わせた表示であれば尚ありがたい。
東日本での放射能の広がりや人体への2年経っている影響、植物の影響。その調査の内容
実際に被害のあった方（福島県の被災者）の経緯を参考に冊子を作ってほしい。
ボクサーの例えについて>
P14のボクサーの例えがよくわかりませんでした。
ボクサーのイラストはいらない。ベクレル、グレイ、シーベルトの言葉より地震の震度のような数字を載せてほしい。
ボクサーの意味がわかりません。
ボクサーの例えがわからない。
ボクサーの説明がわからない。
ボクサーのイラストは特に理解できない
ボクサーで例えている所がわかりにくい
ボクシングの例えが、意味がわからない
14Pのボクサーの例えは理解しにくいと思った。
ボクサーの例えが分かり難いと思う。
イメージ図解がわかりにくい 特にボクサーの例えはわかりにくい
ボクサーの例えがわかりにくい
ボクサーによる例えが理解できません
(デザインをよくしてほしい)
全体的に読みづらい(見づらい)
色だけに限らず、視力の低下した方にも判別しやすい 「UD(ユニバーサルデザイン) フォント」を採用すれば
「とりあえず作りました。」というのが見えます。文字の書体、大きさ、配置などは人の心理を考慮すべき。それとイラストはひどいものです。
写真や絵をもう少し多くして、携帯しやすくしたほうが良いと思います。
文字で理解するより、同時にこのテキストを使って詳細な説明・解説をしてほしい。
この冊子をもっと住民の気のひくような表紙・内容にして重要な冊子であると思えるようにしてほしい。
全ての冊子は見た目から読む気が失せる。若い人にもアンケートを求めて読んでほしいなら文字ばかりでなく、工夫するべき。古臭すぎる・・・。
書いたものだけでは難しい。

(パンフレットの活用、広報、配布、メディア)
広報>
映画などがあれば見たいです。
テレビ、ラジオ、インターネットで周知していただくとありがたい。
冊子、防災無線、高島等、あらゆる機会に防災のピーアールをして、関心を高めてほしい。
人命にかかわる事なので、定期的に広報をだしてほしい。
毎月の放射線量を広報に掲載してほしい。
活用>
学校などの教育機関での活用等
村での冊子の説明会を希望します。
内容が分かりやすく、冊子を作ったり高島市で勉強会をしてほしい。
例えば、講演等で耳から聞く方が分かりやすいかもしれません。
配布>
随時新たな情報があれば掲載して配布してほしい
この冊子はどこにあるのか？ 希望すれば送っていただけるのか？
冊子は一部の方でなく全家庭に配布をお願いします。
家のどこに置いてもすぐに目につくような冊子にした方が良い。(例えば冷蔵庫車に貼れるようにする。)
「もしもの時には…」というダイジェスト版を作成し、全市民に配布すると良いと思います。
15ページでまとめられる内容では無いと思います。もっと詳しい冊子を全世帯に配布するべき
影響のあると思える全戸に冊子を配布することはできないでしょうか？
災害の時どうすれば良いのかを一枚に絵入りで、常に貼っておいて見れたらいいと思う。
県内各家庭に配布してほしい。
わかりやすくよかったです。各家庭にも保存版でほしいです。
冊子は回覧板でいいので短い期間で出してほしい
広く配布してほしい
冊子は次々と送ってもらっても次第に重宝されなくなります
このような冊子は定期的に発行してほしい。防災への意識も高まるから。
メディア>
外出先での災害発生の場合が心配です。スマホなどにいち早く情報が入れば良いのですが(正確に)また、常備する用具も教えて下さい。
子供でも読みたくなるような漫画風の冊子を作れば良いと思う。
県民手帳や県のHPに掲載してほしい。
災害が起きてからの流れを漫画などにすると読みやすい人もいると思う。

漫画仕立てなら年齢を問わず興味深く活用できると思います
(原子力発電に対する意見)
今、電力消費量、原発が無くなればどうなるか？ 脱原発でやっているのか？ (その為、国民はどう努力するか)、チェルノブイリ・スリーマイル島の惨状について情報等を提供してほしい。
原発のマイナスイメージばかりが発信されています、原発の恩恵も情報発信してもらいたい。
原子力発電のメリット、デメリットについて (原発は悪いというイメージを与えず)
原子力の安全を前提に積極的な利用を内容に盛り込むべき
原子力は今の日本にとって必要なので止める必要はありません
受け身の方策ばかりが気になる。根本の原発を止める方策はないのか
滋賀県は全国に向けて、「原発再稼働絶対反対」と宣言すべき
次の世代のことをもっと考えてほしい。だから原発は絶対反対です。
原子力は絶対反対
原子力発電には反対です
本当は日本から原発をなくしてほしい
原発はない方がいい
原発を廃止すれば原子力防災は必要ない。
原発はやめろ
終わりの見えない原子力利用は無くすべきとの広報も必要。
電気代が高くなっても廃止が必要。
原発の安全性が信用できない限り、運転に反対。よって冊子の存在自体認められない
原発ゼロを目指して永代安全にしていきたい
住民は冗監する情報でとまどっているはず
原子力発電所を廃止してほしい
(行政に対して)
依頼>
放射能の調べる箇所をもっと増やしましょう。
県民の命、財産を大切にもらいたい。
大事な水源である琵琶湖を抱えている県として自然エネルギーの利用と原発廃止を真剣に考えて欲しい
原子力技術は世界一と聞いているが、その安全性を具体的に証明してほしい。
行政と電力会社の間でどのような協定を結んでいるのかを追記した方が良い。
万が一事故がないように、どんな対策をしているかを掲載してほしい。
災害発生時の医療体制や情報伝達がどの程度出来ているかの活動状況や進捗を教えてください。
我々の村では一番の連絡方法は自治会長の有線放送だけです、各自治会の連絡を密にしてほしい。

原子力災害が起きた際の補償、避難場所 (出来るだけ遠くに配置してほしい)
住民一人ひとりの補償
放射線と放射能についての説明が分かりにくい。原子力の仕組み、事故が起きた時の官公庁の指示の流れ
原子力発電の必要性、必要性が書かれていません。
万一、避難を余儀される場合があった時、滋賀県人として当然県下にいたいと思います。場所の確保を図ってください。
老人は防災無線で、情報を頻繁にながしてほしい。
もっと原発の現状をありのまま知らせる事が大事
福井に原子力発電所を置く必要がある理由を教えてください。
日本原発推進における課題と疑問 (事故の有無、その際の損失、代替エネルギーの確保、自家発電普及) を記載してほしい。
避難場所と原子力災害が起きた時に備えた県または市の取組を教えてください。(ヨウ素剤の備蓄とか)
福井県にある原発の安全性ならびに現状について発信してほしい。
琵琶湖がありますので、太陽光発電に早く県も考えてほしい。
防災機関の向上
長浜市の防災行政無線は、聞き取りにくい改善してほしい。
どのような保証が受けられるのか知りたい
避難時の注意点や生活の保障
放射能の防災拠点を高島市内に設置して欲しい。放射能に関しては市役所の対応では不安。原子力に関しては滋賀県知事がリーダーシップをとって進めてほしい。
本当に原発が必要なのか問うて欲しい
県や市はどういった対策を取ろうとしているのか
行政は偽りなく市民に知らせることを希望します。
事故が発生しないため、国や福井県、事業者に対してどのような要請を県として行っているかも記載してほしい。
滋賀県としてのスタンスなど掲載していただきたい
高島市の鴨川下流域に埋められている放射能汚染物質の放置についての経緯と対策についてもちゃんと説明すべきだ。かつ早急に近隣の住民、住宅の放射能測定を報告すべき。
原発ゼロに向けての話し合い。現在の福島の避難者の気持ちを報道すべき。
防災や事故を未然に防ぐ方法も重要
福島の実況を見て今後の対策などを知りたい。
質問>
原子力防災に対する県の方針を具体的に知りたいと思います。
今まで原子力発電所は安全という前提で動いていた国や県に憤りを感じる。

高島市は甲状腺ガンの人か他市と比べて多いと聞きました。ホントなのかを知らせてほしい。
安定ヨウ素剤の備蓄は出来ているのか？（全滋賀県民か、一部か？）
県として、原子力災害が起こった場合どのような情報収集をして、どのように市に連絡し市がどのように行動するのか知りたい。
高島市は避難が難しい所です。市外への道が少ないため具体的にどう避難出来るかわからない。安定ヨウ素剤はどのように配布されるのか
福島の汚染水のタンクがありますが、いずれはどうするのですか？
除染は放射性物質を洗い流しますが、通常の水では無理なのですか？ だったら屋内退避で手洗いやうがいは大丈夫ですか？
子供が学校に行っていたらどうすれば良いのか、学校側ではどのような対策をされるか疑問がある。
琵琶湖の水を使用している地域全体に知らせるべきでは？
事故時水道水は飲めるのか
避難時に持って行って良いもの悪いもの。もんじゅは一般的な原発と違い事故が起きれば大変なことになるそうですが、対策が同じでいいのですか？
どのような家がより安全かなど
琵琶湖が汚染されたら京都、大阪への影響がどうなるか知りたいです
木造住宅ではどうなるか知りたい
災害の想定は何をもとにしているのか
不信>
こんな冊子を作る事より、他にやることあるはず。お役所仕事はこの程度、残念でした。
冊子をどのように使用、配布されてか知りませんが、コストが高くてついているように思います。もっと他にお金を使われてはどうでしょうか？
いずれにしろ行政には期待していない。自ら守る。
はたして行政を信用しているのか
（その他）
子供を第一に考えれば順番見えてくる
放射線や放射能の説明より、今何を第一にするのかをアピールすべき
事故を起こさせないという自信があるのなら、施設を閉鎖すべき
地区において何度でも話し合う機会を持つといいと思います。
その場逃れの政策では日本は破滅する。なぜそれに気づかないのかと思ってならない。
このようなアンケートの必要のない社会を切に望んでおります
原子力発電所が近くにあるので常に心配である
未来のためにどのようなことが必要かを考えていくこと

原子力防災に関する住民意向調査 ～ご協力をお願いします～

平素より、滋賀県が推進する原子力防災対策へのご理解とご協力をいただき、御礼申し上げます。

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故後、滋賀県で、地域防災計画（原子力災害対策編）の見直しを行い、環境放射線モニタリングの強化や原子力防災訓練の実施など、長浜市、高島市と連携を深めながら原子力防災対策に取り組んでいます。

県としましては、原子力防災対策のより一層の充実強化を図っていくため、日頃皆さまが原子力災害に対して思っている事や、気になっている事をお聞きすることが重要と考えております。

このたび、皆さまからのお声をお聴かせいただきたく、長浜市、高島市にお住まいの20歳以上の方3,000人を対象に「原子力防災に関する住民意向調査」を実施いたします。

皆さまいただいたご意見は、原子力防災対策の充実強化に向けての大切な基礎資料として活用してまいりますので、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成25年(2013年)11月

滋賀県 防災危機管理局 原子力防災室

ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、個人を対象としていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方ご本人がご記入ください。(ご本人による記入が困難な場合は、ご家族などがご本人から聞き取って代筆をお願いします。)
- この調査は無記名でお願いします。また、この調査票に記入された内容が、外部にもれたりしてご迷惑をおかけすることは決してございません。
- 特に断り書きがない限り、全ての質問にお答えください。
- 回答は問1から順に、特に説明書きがない限り質問ごとに用意した答えの中から、あなたの考えに近いものに○印をつけてください。
- ご記入いただいたこの調査票は同封の返信用封筒に入れて、11月18日(月)までにご投函ください。(切手を貼ったり、お名前を書いていただく必要はありません。)
- この調査についてご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

滋賀県 防災危機管理局 原子力防災室
電話 077-528-3445 (直通)
ファックス 077-528-4843

原子力防災に関する住民意向調査

あなたご自身のことについて教えてください。

■ あなたの性別を教えてください。(〇は1つだけ)

1 男 2 女

■ あなたの年齢はおいくつですか(満年齢で)。(〇は1つだけ)

1 20~29歳 4 50~59歳
2 30~39歳 5 60~69歳
3 40~49歳 6 70歳以上

■ あなたの住まいる市はどちらですか。(〇は1つだけ)

1 長浜市 2 高島市

■ あなたはどのようなお仕事をされていますか。(〇は1つだけ)

1 農林漁業職 5 生産・輸送・建設・労務職
2 専門・技術職 6 家事専業
3 販売・サービス・保安職 7 学生
4 事務職 8 その他・無職

■ あなたには18歳以下のお子さんがいらっしゃいますか(満年齢で)。(〇は1つだけ)

1 いる 2 いない

1

問1 あなたが放射線や原子力災害について知っていることを教えてください。

問1-1

あなたは、日常において、市内の放射線量を気にしていますか。(〇は1つだけ)

1 気にしている 2 気にしていない

問1-2

あなたは、日常において、原子力災害の発生を気にしていますか。(〇は1つだけ)

1 気にしている 2 気にしていない

問1-3

あなたは、福島第一原子力発電所で事故が起こったことを知っていますか。(〇は1つだけ)

1 知っている 2 知らない

問1-4

滋賀県に隣接する若狭地方に、何基原子炉が立地しているか知っていますか。あてはまるものを以下の項目から選んでください。(〇は1つだけ)

1 15基
2 10基
3 5基
4 0基
5 わからない

問1-5

県では、市内の放射線量の測定を行っています。知っていますか。(〇は1つだけ)

1 知っている 2 知らない

問1-6

あなたの身の回りの放射線量を知っていますか。市内の放射線量であてはまるものを以下の項目から選んでください。(〇は1つだけ)

1 1時間あたり約5マイクロシーベルト
2 1時間あたり約0.5マイクロシーベルト
3 1時間あたり約0.05マイクロシーベルト
4 放射線は存在していない
5 わからない

2

問1-7

あなたは、放射線の意味を知っていますか。(〇は1つだけ)

1 聞いたことがあり、説明することができる
2 聞いたことはあるが、意味はよくわからない
3 聞いたことがない

問1-8

あなたは、原子力災害に対して何か備えていますか。(〇は1つだけ)

1 備えている
2 備えていない



問1-8で「1 備えている」と回答された方におたずねします。どのようなことを行っていますか。(〇はいくつでも)

1 避難場所の確認
2 避難経路・手段の確認
3 放射線防護の知識を身につける
4 マスクなど放射性物質を吸い込まないようにするための装備を準備している
5 その他()

問1-9

万一原子力災害が起こったとしたら、どのような行動を取りますか。(〇はいくつでも)

1 できるだけ遠くに避難する
2 建物の中に入る
3 屋内へ入り、ドアを閉めたり、エアコンや換気扇の使用を控える
4 長袖の服を着たりマスクをしたりする
5 顔や手を洗う
6 テレビなどで情報を集める

3

問2 防災や原子力災害に関する情報についてどのように得ているか教えてください。

問2-1

日常において、防災に関する情報をどのような方法で知ろうとしていますか。(〇はいくつでも)

1 新聞 6 説明会・講演会
2 テレビ 7 県や市の広報誌
3 ラジオ 8 知人・友人の話
4 インターネット 9 知ろうと思わない
5 雑誌 10 その他()

問2-2

万一原子力災害が起こったとしたら、原子力災害に関する情報をどのように知ろうと思えますか。(〇はいくつでも)

1 市からの連絡 6 知人・友人の話
2 新聞 7 町内の役員からの情報
3 テレビ 8 知ろうと思わない
4 ラジオ 9 その他()
5 インターネット

問2-3

万一原子力災害が起こったとしたら、原子力災害に関する情報について、どこからの情報を頼りにしますか。(〇はいくつでも)

1 マスコミ(新聞・テレビ・ラジオ) 7 原子力や放射線などの専門家
2 国 8 企業(電力事業者、メーカーなど)
3 県 9 知人・友人
4 市 10 個人のSNSやツイッターなど
5 自治会・町内会 11 その他()
6 NPOなどの市民団体

問2-4

万一原子力災害が発生し、国や県、市(行政)から屋内避難などの指示が出たとき、どのように行動しますか。(〇は1つだけ)

1 行政の指示に従う
2 自分で考えその場で判断する
3 知人、友人に意見を聞き判断する
4 マスコミ(新聞、テレビ、ラジオ)の情報で判断する
5 わからない

4

問3 原子力災害・防災について知りたい情報を教えてください。

問3-1

あなたは、**日常において**、原子力防災に関する情報を**知りたいと思いますか。**

知りたくない	あまり知りたくない	どちらともいえない	ある程度知りたい	知りたい
--------	-----------	-----------	----------	------

問3-2

あなたは、**日常において**、原子力災害に関する以下の項目について、**どれくらい知りたい**と思っていますか。(各項目で○は1つだけ)

	知りたい	やや知りたい	どちらともいえない	あまり知りたい	知りたくない
① 放射線・放射能などに関する基礎知識					
② 放射線から身を守る方法					
③ 食品の摂取制限や避難などの基準					
④ 放射線の人体への影響					
⑤ 原子力災害時の避難場所や避難経路					
⑥ 県が行った放射能拡散予測結果					

その他に日頃知りたいと思う内容があればお書きください。(自由記述)

問3-3

万一原子力災害が起こったとしたら、あなたは原子力災害に関する以下の項目について、**どれくらい知りたい**と思いますか。(各項目で○は1つだけ)

	知りたい	やや知りたい	どちらともいえない	あまり知りたい	知りたくない
① 事故を起こした原子力発電所の状況					
② 避難等に関する指示や勧告					
③ 大気中の放射線の拡散予測(SPEED等)					
④ 放射能による人体への影響					
⑤ 飲料水や食べ物の中の放射能の測定値					
⑥ 周辺環境中の放射能の測定値(大気、土壌、河川、琵琶湖等)					

その他に原子力災害時に知りたいと思う内容があればお書きください。(自由記述)

原子力災害が万一起こったときには、事故についてのできるだけ正確な情報を迅速に発信することが求められます。しかし、正確さと迅速さは両立しないこともあります。なぜなら、事故直後の状況下では、環境中の放射線量や原子炉の状況などについて、政府や行政でも正確な情報を得ることが難しいからです。

正確を期すためには、より多様な側面からその情報を確認し、一般に公開することになりますが、発表までに時間がかかり、迅速な情報提供が行えないことがあります。一方で、正確に確認できていない段階で情報を公開してしまうと、それが誤りであった場合、逆に被害を拡大させたり、混乱させたりすることが危惧されます。そこで、次の質問にお答えください。



問3-4

万一原子力災害が発生し、行政が情報を発信する場合、あなたは、「**正確性**」と「**迅速性**」の**どちらを優先して情報を発信すべき**と考えますか。(○は1つだけ)

- 1 正確性を重視する
- 2 どちらともいえない
- 3 迅速性を重視する

なぜそのように思いますか。理由を教えてください。

問4 原子力災害が発生した場合あなたが気になることを教えてください。

2011年3月11日東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、広範囲の住民が避難されただけでなく、農作物や土壌、河川など様々なところに影響を及ぼしました。そこで、おたずねします。

問4-1

万一原子力災害が起こったとしたら、以下の項目についてどう思いますか。(各項目で○は1つだけ)

	気になる	やや気になる	どちらともいえない	あまり気になる	気にならない
① 避難の方法					
② 避難所での生活					
③ 放射線による自分自身への健康影響					
④ 放射線による家族(大人)への健康影響					
⑤ 放射線による家族(子ども)への健康影響					
⑥ 避難や移転に伴う直接的な経済的損失					
⑦ 家畜やペット、農作物への影響					
⑧ 飲料水や食べ物への影響					
⑨ 避難や移転に伴う仕事・会社への影響					
⑩ 子どもの教育や学業への影響					
⑪ 周辺環境への影響(大気、土壌、河川、琵琶湖等)					

問4-2

飲料水や食べ物については、放射性物質の基準値が定められています。あなたは、飲料水や食べ物を**食べたり飲んだりするのにどの程度まで許容できますか**。最も近いものに○をつけてください。(○は1つだけ)

- 1 基準値以下
- 2 基準値の半分以下
- 3 数値が0
- 4 気にしない
- 5 分からない

※ 参考までに次のページに基準値などを掲載しています。

<参考>

出荷制限	基準値 (Bq/kg)
飲料水	10
牛乳	50
乳幼児用食品	50
一般食品	100

※ 平常時の摂取制限の基準値は、食品から受ける線量の上限值(1年間1000マイクロシーベルト)から、各食品に割り当て決定されています。

■ベクレル(Bq)とシーベルト(Sv)について

1ベクレルは、1秒間に1個の原子核が崩壊することを表します。放射線にはアルファ線(α線)、ベータ線(β線)、ガンマ線(γ線)などの種類があり、同じ1ベクレルでも、出ている放射線の種類によって身体への影響が異なります。このため、ベクレルの数値だけでは私たちの身体への影響はわかりません。そこで、放射線の種類や強さを考慮して、人間の身体が放射線によってどれだけ影響を受けるかを表す単位として「シーベルト」が使われています。

ベクレル (Bq) 放射線の強さ
シーベルト (Sv) 人体への影響の大きさ



問5 原子力災害・防災に関する話し合いの場について教えてください。

原子力に関する情報は、専門用語が多く、事故発生時に情報がうまく伝わらないと言われてます。原子力災害に備えるためには、日頃から原子力発電所に関する情報に接しておくことが重要です。そこで、おたずねします。

問5-1

原子力防災や原子力発電所のことについて話し合ったことはありますか。(〇は1つだけ)

1 ある	2 ない
------	------

問5-1で「1 ある」と回答された方におたずねします。それはどのような場ですか。(〇はいくつでも)

1 家庭	5 消防団
2 友人同士	6 職場
3 自治会・町内会	7 その他 ()
4 NPOなどの市民団体	

県では、原子力災害に備えるためには、行政と事業者だけでなく、住民も交えて原子力発電所に関する情報を共有したり、話し合ったりすることが重要だと考えています。そこで、以下のような場についてどう思いますか。

問5-2

行政と事業者だけでなく、住民も交えて原子力発電所に関する情報を共有したり、話し合ったりする場が必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

必要はない	あまり必要はない	どちらともいえません	少し必要がある	必要がある
-------	----------	------------	---------	-------

問6へ

問5-3、問5-4へ

問5-3

問5-2で「どちらともいえない」「少し必要がある」「必要がある」とお答えした方におたずねします。

問5-2に示したような場があった場合、あなたはその場に参加したいですか。(〇は1つだけ)

参加したくない	あまり参加したくない	どちらともいえません	どちらかといえば参加したい	参加したい
---------	------------	------------	---------------	-------

問5-4

問5-2で「どちらともいえない」「少し必要がある」「必要がある」とお答えした方におたずねします。

問5-2に示したような場があった場合、あなたはどのようなことを話し合ったり、行ったりしたいですか。(〇はいくつでも)

1 避難経路や避難方法について
2 避難所での生活について
3 要援護者に対する対策について
4 原子力防災訓練への参加
5 放射線の測定
6 原子力発電所の安全対策について
7 原子力事業者の活動状況
8 その他 ()

問6 「滋賀県の原子力防災」という冊子の感想をお聞かせください。

原子力災害時の行政の対応や皆さんの取るべき行動を紹介するために、「滋賀県の原子力防災」という冊子を作成しました(アンケート票とは別に同封してあります)。今後も、冊子の改善を図っていきたいと考えておりますので、この冊子の感想をお聞かせください。

問6-1

この冊子は、「原子力防災計画」「災害時の対応」「知っておこう、放射線のこと」の3つの項目からなっています。

冊子に記載されている各項目について、**分かりやすい**と感じましたか。また分かりにくい場合は**どのような点が分かりにくい**と感じましたか。

① 原子力防災計画(3~6ページ)(〇はひとつだけ)

分かりにくい	少し分かりにくい	どちらともいえません	ある程度分かりやすい	分かりやすい
--------	----------	------------	------------	--------

分かりにくい場合

なぜ分かりにくいと感じましたか。(〇はいくつでも)

1 内容が難しく理解できない
2 内容が不十分
3 文字が多い
4 写真やイラストが少ない
5 その他 ()

② 災害時の対応(7~11ページ)(〇はひとつだけ)

分かりにくい	少し分かりにくい	どちらともいえません	ある程度分かりやすい	分かりやすい
--------	----------	------------	------------	--------

分かりにくい場合

なぜ分かりにくいと感じましたか。(〇はいくつでも)

1 内容が難しく理解できない
2 内容が不十分
3 文字が多い
4 写真やイラストが少ない
5 その他 ()

③ 知っておこう、放射線のこと(12~15ページ)(〇はひとつだけ)

分かりにくい	少し分かりにくい	どちらともいえません	ある程度分かりやすい	分かりやすい
--------	----------	------------	------------	--------

分かりにくい場合

なぜ分かりにくいと感じましたか。(〇はいくつでも)

1 内容が難しく理解できない
2 内容が不十分
3 文字が多い
4 写真やイラストが少ない
5 その他 ()

問6-2

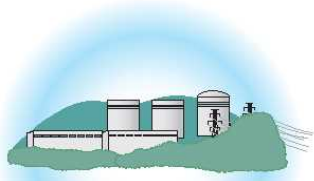
今後も、冊子の改善を図っていきたいと考えております。改善した方がよいと思われる点や、他に掲載されているとよいと感じた内容がありましたらお書きください。(自由記述)

--

★アンケートにご協力いただき、ありがとうございました★

※記入された調査票は同封の返信用封筒に入れて、**11月18日(月)**までにご投函くださいますようお願いいたします。

滋賀県の 原子力防災



防災関係機関

県内

名称	所在地	電話番号
長浜市役所 総務部 防災危機管理課	長浜市八幡町832	0749-85-8555
長浜土木事務所 総務用地課	滋賀県長浜市平方町1152-2	0749-85-8636
湖北電業公社事務所（長浜保電所）	滋賀県長浜市平方町1152-2	0749-85-8660
長浜警察署	長浜市八幡中山町字島ノ前300	0749-82-0110
湖北地域消防本部	長浜市平方町1135番地	0749-82-0444
長浜消防署	長浜市平方町1135番地	0749-82-9194
長浜消防署 池井出張所	長浜市三田町1382番地	0749-74-1777
長浜消防署 びわ出張所	長浜市益田町54番地	0749-72-3888
長浜消防署 津流井分署	長浜市五村151番地	0749-73-2581
長浜消防署 伊香分署	長浜市木之本町大倉151番地	0749-82-2381
長浜消防署 西池井出張所	長浜市西池井町小山1728番地	0749-89-0119
長浜消防署 余呉出張所	長浜市余呉町中之郷1015番地	0749-86-4119

高島市内

名称	所在地	電話番号
高島市役所 政策部 原子力防災対策室	高島市新田町北廻585	0740-25-8133
高島土木事務所 総務用地課	高島市今津町今津1758	0740-22-6043
高島電業公社事務所（高島保電所）	高島市今津町今津448-45	0740-22-2505
高島警察署	高島市今津町中沼二丁目4	0740-22-0110
高島市消防本部	高島市今津町日置町5150	0740-22-1234
高島市消防本部 北部消防署朽木分署	高島市朽木町723-1	0740-38-2100
高島市消防本部 北部消防署マキノ倉庫分署	高島市マキノ町西浜321	0740-28-0119
高島市消防本部 南部消防署	高島市安曇川町町中598-1	0740-32-1212

滋賀県庁

名称	所在地	電話番号
防災危機管理課（防災）		077-528-3431
環境対策課（環境放射線水準調査）	大津市京町西丁目1番1号	077-528-3611
放射線対策課（放射線ばく露調査）		077-528-3631
生活衛生課（食品の摂取調査）		077-528-3641

1

1. 原子力防災計画

(1) 滋賀県の原子力防災対策の取り組みは？

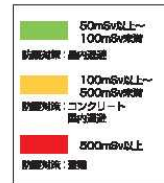
福島第一原子力発電所事故をきっかけに、改めて原子力災害の危険性を認識することとなりました。こうしたことから、原子力発電所が立地している福井県に隣接している滋賀県でも、原子力防災対策を強化するため、防災計画の見直しが行われていました。

■災害の想定

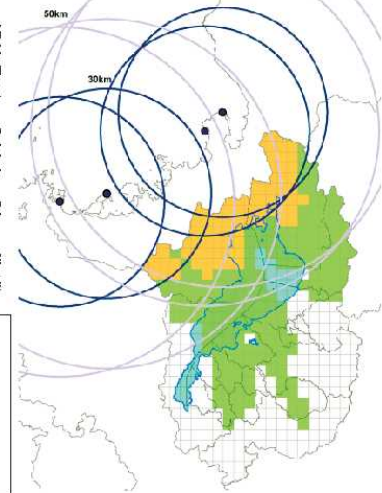
敦賀、美浜、大飯、高浜原子力発電所で福島第一原子力発電所事故と同規模の放射性物質が外部に放出したことを想定しています。

放射性物質は、福島第一原子力発電所事故において放出量が多かった希ガス（キセノン）とヨウ素の放出を想定しています。

（※あくまでも予測であり、実際に県内各地での放射線レベルは異なるため、必ず最新の状況を確認してください。）



＜放射性ヨウ素の拡散予測図＞



滋賀県西滋賀県科学センター予測図

3

はじめに

滋賀県では、2011年3月11日東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、広範囲の周辺住民が避難されたことに伴い、2012年度から、滋賀県地域防災計画（原子力災害対策編）の見直しを行い、これに基づいて原子力防災に取り組んでいます。

原子力や放射線の災害については、自然災害と異なり、五感に感じる事が困難であったり、使用する用語が専門的であったりすることから非常にわかりにくいものです。

この冊子では、本県としての取り組みと放射線に関する基礎知識や原子力災害が発生したときにとるべき行動を案内しています。

万が一の緊急時の適切な行動をはじめ、原子力防災について理解を深めていただくためにご活用ください。

平成25年（2013）3月

目次

1. 原子力防災計画	
(1) 滋賀県の原子力防災対策の取り組みは？	3
(2) 放射線はどこでかかっているの？	5
2. 災害時の対応	
(1) 原子力災害が発生するとどうなる？	7
(2) 災害が発生したら、どうやって知らせられるの？	8
(3) 「県内避難」「避難」指示が出たらどうする？	9
3. 知っておこう、放射線のこと	
(1) 放射線と放射性物質	12
(2) 内部被ばくと外部被ばく	13
(3) 日常生活の放射線	15

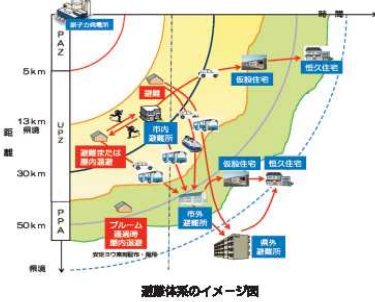
2

■ 予測される影響

- ・ 希ガス（キセノン） → 防護措置を講ずる水準にはないと予測されました。
- ・ 放射性ヨウ素 → 甲状腺被ばく等防護線量が



防災対策を重点的に充実すべき地域を高崎市、長浜市の一部とします。
また、異常事態発生時の気象状況により、万一上記の防災対策を重点的に充実する地域外の地域に影響が及び、または及ぶ恐れのある場合は、上記地域で行う災害応急対策に準じて必要な措置を行います。



(2) 放射線はどこではかっているの？

滋賀県は平常時から環境放射線のモニタリングを実施して、緊急時における原子力施設からの放射性物質または放射線の放出による県内の影響評価に用いる比較データの収集に努めています。

- 放射線監視モニタリングポスト
【原子力発電所から放出される放射線や放射性物質を監視するため、高精度で測定できるモニタリングポストです。(平常時も稼働しています。)]
- 環境放射線水準調査モニタリングポスト
【平常時の環境放射線量を測定する低精度のモニタリングポストです。]

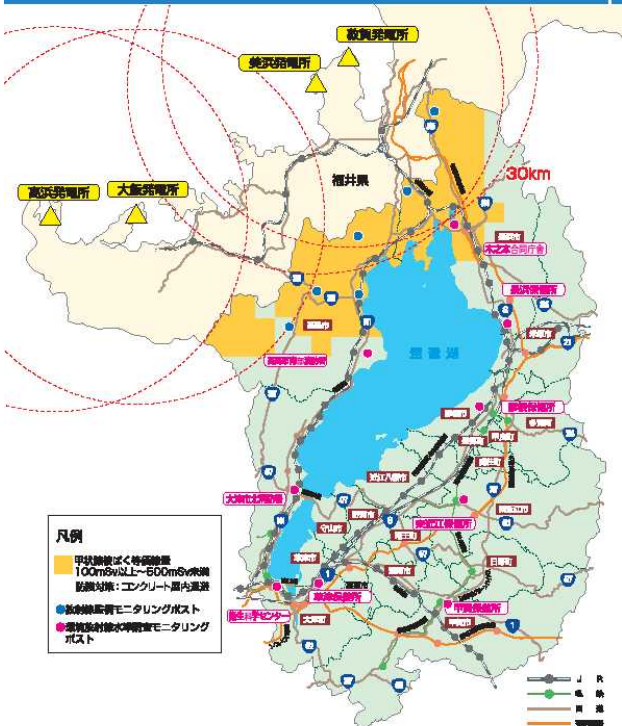
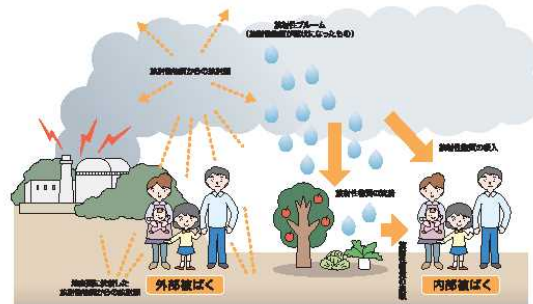


2. 災害時の対応

原子力災害とは、原子力発電所などの原子力施設の事故により、大量の放射性物質が放出され、原子力発電所周辺地域の住民の方々などに被害を与えることをいいます。
原子力災害は、地震、風水害、火災などの他の災害とは異なり、放射線を五感で感知することができないため、放射線の強さ、放射性物質の拡散、汚染の有無などにかかわらず、どのように行動すればよいのか自分で判断することができません。
みなさん、国、県、市町等からの正確な情報に基づき、冷静・沈着・確実行動してください。

(1) 原子力災害が発生するとどうなる？

災害が起こった場合、原子力施設から放出された放射性物質は大気に流れこみ、気体や粒子状の放射性物質を含んだ空気のかたまりになります。これは風下に流れ込みながら広がっていき、放射性物質の濃度は次第に低くなっていきます。風下にいる場合、放射線による外部被ばくや、内部被ばくの可能性があります。



(2) 災害が発生したら、どうやって知らせしてくれるの？

原子力災害が発生し、周辺の人を受ける放射線の影響が心配される場合は、状況に応じて、「屋内退避」または「避難」の指示が出されます。
災害の情報やとるべき行動は、テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車などを通じてお知らせします。

★次の点に注意しましょう！

広報車や防災行政無線などの情報に注意する

緊急を要する電話以外は控えるようにしましょう

不要な外出を控え、指示があるまで自宅等で待機する

テレビ、ラジオ、緊急メールなどから正確な情報をつかむ

災害対策本部等の情報に従って行動し、噂やデマにまどわされない

(3) 「屋内退避」「避難」指示が出たらどうする？

■「屋内退避」

屋外にいる人は、自宅や近くの建物の中に入って下さい。「屋内退避」（建物の中に入る）することで、放射線の影響をかなり防ぐことができます。

★次の点に注意しましょう！

外気が入ってくるのを防ぐ（ドアや窓を閉める、エアコンや換気扇の使用を控える）

放射性物質の流入を防ぐ

身体についた放射性物質を洗い流す

OFF

外から帰って来たら顔や手を洗う。特に指示があったときは、外で着ていた衣服を着替え、ビニール袋に保管する。

放射性物質の汚染を防ぐ

食品に蓋をしたりラップをかける

■「避難」

屋内退避では不十分と判断される場合には、「避難」の指示が出されます。

★次の点に注意しましょう！

指示の内容をよく聞く

近所の人に声をかける

ガスの元栓を締め、電気はブレーカーを切る

指示があればマスクや上着を着用する

マスクをしたり、タオルやハンカチで口や鼻をおおうだけでも、放射性物質を吸い込まないようにする効果があります。

戸締まりをしっかりとる

避難所などでは、放射性物質が衣服や身体に付着しているかを調べ、必要ならば、放射性物質を落とす作業（除染）を行います。
また、専門的な医療が必要な人については指定された医療機関へ搬送します。

放射性物質が付着していないか確認します。

除染の必要があるときは、放射性物質を洗ったり、拭き取ったりします。

専門的な医療が必要なときは、指定された医療機関へ搬送します。

安定ヨウ素剤とはどんなもの？どんな効果があるの？

「放射性ヨウ素剤」という放射性物質は、のどの甲状腺に集まる性質をもち、これを体内に取り込むと、甲状腺がんなどを発生させるおそれがあります。
安定ヨウ素剤の服用は、放射性ヨウ素が甲状腺に集まるのを防ぐ効果があります。

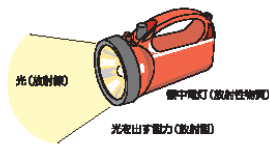
○40歳未満の人が対象ですが、妊娠している人は40歳以上でも胎児のために服用します。
○1回の服用が原則です。
○重い副作用をさけるため、ヨウ素過敏症等の既往歴または治療中の方は避難所等で医師・薬剤師等に相談してください。

安定ヨウ素剤には、甲状腺以外の臓器への内部被ばくや放射性ヨウ素以外の放射性物質による外部被ばくを防ぐ効果はありません。
ヨウ素を含んだ「うがい薬」や「消毒薬」は安定ヨウ素剤とは異なりますので、代用品として飲口は絶対にやめてください。
安定ヨウ素剤の服用方法は国の方針により変更されることがあります。

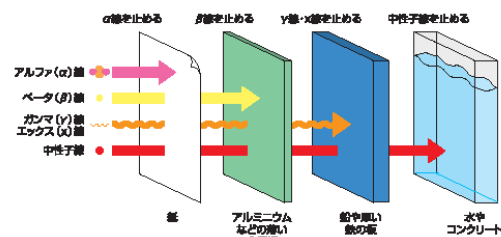
3. 知っておこう、放射線のこと

(1) 放射線と放射性物質

■放射能や放射線とは？
放射線をだす能力は放射能、放射線をだす物質を放射性物質と呼んでいます。
放射能と放射線の関係を電灯と光に例えてみると、電灯が放射性物質なら、光が放射線。光をだす能力が放射能となります。

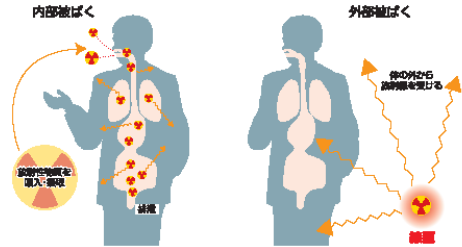


■放射線の性質
放射線の種類にはアルファ線、ベータ線、ガンマ線などがあり、それぞれ性質は異なります。
アルファ線は紙一枚でもさえぎることができます。ベータ線はアルミニウムなどの薄い金属板でさえぎることができます。
ガンマ線は透過力が強く、鉛や厚い鉄の板、水やコンクリートなどでさえぎることができます。
このため、屋内退避やコンクリート屋内退避が有効となります。



(2) 内部被ばくと外部被ばく

内部被ばくとは、放射性物質が含まれる空気や飲食物を吸ったり摂取したりすることによって、放射性物質が体の中に入り、体の中から放射線を受けることです。外部被ばくとは、体の外にある放射性物質から出る放射線を受けることです。



●原子力災害時に食べ物や飲み物はいつもどおり食べて大丈夫？

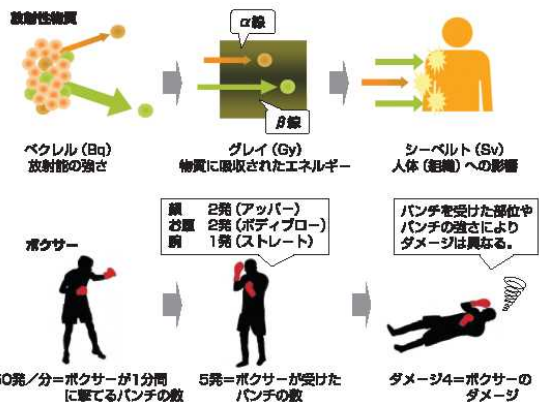
原子力災害が発生したときには、緊急時モニタリング体制をとり、放射能測定の監視を強化します。
放射能測定の結果、定められた濃度以上の放射性物質が含まれる食べ物、飲み物、農林水産物があれば、県や市・町の災害対策本部がそれらの飲食や出荷を制限します。



●放射線と放射能の単位

1ベクレルは、1秒間に1個の原子核が崩壊することを表します。
放射線にはアルファ線(α線)、ベータ線(β線)、ガンマ線(γ線)などの種類があり、同じベクレルでも、出てくる放射線の種類によって身体への影響が異なります。
このため、ベクレルの数値だけでは私たちの身体への影響はわかりません。そこで、放射線の種類や強さを考慮して、人間の身体が放射線によってどれだけ影響を受けるかを表す単位として「シーベルト」が使われています。

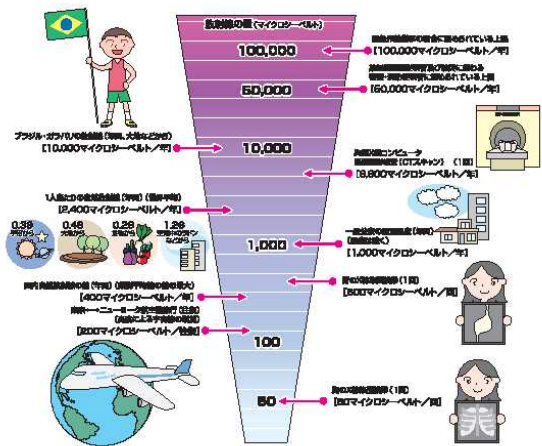
ベクレル (Bq) 放射線の強さ
グレイ (Gy) 放射線のエネルギーがどれだけ物質に吸収されたか
シーベルト (Sv) 人体への影響はどの程度か



(3) 日常生活の放射線

私たちの周りの土や石の中には、放射性物質があり、日常生活の中で少しずつ放射線を受けています。
放射線は、体の細胞を傷つけますが、私たちの体にはその傷を修復する仕組みがあり、日常生活で受けるくらいの放射線量では健康被害がないように調節しています。また、放射線は医療の分野などでも活用されています。

＜日常生活の放射線＞



原子力防災に関する住民意向調査

平成 26 年（2014 年）1 月

【発行】滋賀県 防災危機管理局 原子力防災室
〒520-8577 滋賀県大津市京町 4 丁目 1 番 1 号
電話：077-528-3445
FAX：077-528-4843

この冊子は再生紙を利用しています